

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人聖母愛真会 こじか「子どもの家」		公表日		2025年 3月 21日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16	0				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	2	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人数に必要な数の職員(パートも)がいる。 ・パート職員が多いが、日々の反省や、子どもの関わり方の引継ぎをしっかりと行っている。 ・子どもがいる時間は、パート職員も含めると十分。。しかし正職が足りず掃除や、教材準備・行事は人手不足。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員確保に関しては、四方手を尽くしましたが、難しい状態でした。2025年度に関しては、2024年度中に正職員の確保が4名可能になりました。職員数の確保は、今後も課題とし挙がってくるため、今年度同様、求人募集を常に行っています。 		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	16	0	<ul style="list-style-type: none"> ・常に同じ場所に同じ物が整理されていて、子どもにとって、とても分かり易い。親子通園では、子どもたちの顔写真を貼り、1日のスケジュールを写真を使用し、とても分かりやすく整備している。 			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16	0	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の際、子ども達が集中できるよう、教具を片づけたり、布で覆うなどしている。 ・毎日の掃除はとても丁寧に行っている。 			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16	0	<ul style="list-style-type: none"> ・親子通園では、食事等の場合個室や場所も提供。 			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	16	0				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	0	<ul style="list-style-type: none"> ・HPにも掲載され、広く共有されていてよい。 ・保護者家庭支援グループで評価表作成し保護者に書いてもらった。 ・家庭支援グループで取り組んだ。 			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	0	<ul style="list-style-type: none"> ・園長先生との面談の機会等がある。 			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	2	<ul style="list-style-type: none"> ・不明 			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16	0	<ul style="list-style-type: none"> ・午前療育期間など活用した研修また園長との学習会等パート職員も研修する機会をいただいている。 ・パート研修等を実施していただいた。 			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	16	0				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16	0				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16	0	<ul style="list-style-type: none"> ・訂正があればすぐに新しい支援方法が共有される。 ・パート職員ですが、毎回計画書を見せて頂いて、その内容を共有させてもらっている。 ・先生方とパート職員とのやり取りにより、職員間で共有出来ている。 			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16	0				

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	0	・こじか「子どもの家」の児童発達支援計画書は、一人ひとりとても細かく具体的に項目毎に設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16	0	・主に正職員の先生方で、やっけてくさつている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	16	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16	0	・支援内容や子どものその日の状態に応じて職員で役割を決め、動きがかぶらないようにしている。 ・パート職員ですが、その日の流れ、担当する仕事等常に指示があり、動く事ができている。 ・毎朝パート職員には、会議記録（朝礼など）を読んでもらっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	16	0	・パート職員ですが、その日にあった難しかった点、疑問点などは必ず直接質問するか、メールにてアドバイスや指示を受け、次につなげている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16	0	・疑問や改善できそうな点を、すぐに共有解決し翌日に持ち込まない点が良い。 ・毎日、記録を細かくしている。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16	0			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	1	・未記入	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	16	0	・心配な点があつても、新生児訪問から切れなく支援している。 ・医療機関、保健機関、学校関係との連携あり。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	3	・外来相談で行っている。 ・景先生の外来では行っていると思う。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	0	・就学サポートシートに加え、引継ぎの為小学校へ行っている。 ・とても丁寧細かい支援内容を作成して頂き、小学校へ情報共有してもらった（卒園児親として） ・サポートシート作成をしている。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	15	0	・今年度より、子ども発達支援センター「宙」の児童発達支援センターと連携して、市内の事業所の研修会を開催し、2回目は2月に。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	15	0	・パート職員は、外部の研修へは参加できないのか。	・2024年度パート職員で1名、外部の研修を受けましたので、参加はできます。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	15	0	・景先生がこども部会の部会長を行っている。 ・園長がこども部会長となって参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	12	・こじか保育園との交流があるとよい。 ・今年もコロナ関係で中止。 ・感染拡大防止のため。 ・コロナなど感染症流行のため、現在はなし。	

保護者への説明等	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16	0	・送迎時や個別など保護者に常に寄り添っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16	0		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16	0	・主に正職員の先生方でやったださっている。保護者からなにかあれば必ず伝えるようにしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	16	0	・主に正職員の先生方でやったださっている。保護者からなにかあれば必ず伝えるようにしている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16	0	・主に正職員の先生方でやったださっている。保護者からなにかあれば必ず伝えるようにしている。 ・個別指導を設けてもらっている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	16	0	・年3回、クラス懇談会を開く。 ・クラス懇談会 ・年3回クラス懇談会を実施している。 ・今年度は特に、保護者のグループ相談等で保護者間で交流する機会が多い。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16	0	・すぐに支援方法を考えてくれて対応してくれる。上手くいかない時も、また違う方法を毎度アドバイスしてもらえる。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	16	0	・職員にも毎月おたより頂いています。 ・園だよりなど発行している。	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16	0			
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	0			
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	7	・行事に地域住民の方を招待すること自体がないかと思います。 ・コロナ前は夏まつりなどに招待していた。 ・今年もコロナ関係で中止。	・さまざまな疾病を抱えている児が通園しているため、感染症のリスクを考慮し控えているが、それが落ち着いたら検討したいと考えている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16	0	・緊張感があり、本格的な訓練である。 ・毎月避難訓練があり(火事・地震など) ・家族に周知している。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16	0	・毎月避難訓練があり(火事・地震など) ・毎月避難訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	16	0	・朝のうけとり時や連絡帳など二重の確認でめれないようになっている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	0	・クッキー作りなど配慮があった。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	16	0	・火山、地震、水害など災害のよって細かく安全確保の方法が決められている。 ・各家庭に避難経路を記載してもらっている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	2		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	0	・チェックリスト等の配布により、自分の行動を振り返る機会をもらった。 ・研修を行っている。 ・未記入 1	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	3	・よく理解していない(自分自身が) ・確認できていないため。	・今年度は、座位保持装置使用の児がいなかったが、例年は、保護者に説明しご理解いただいた上で承諾書にもサインをいただき、支援計画にも記載しています。